

キャビネットラックシステム

[CBR(A~H)タイプ]

[W1200タイプ]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださりましてありがとうございます。

この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)と組立てについて記載しています。

組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存してください。

尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客室相談室までご連絡ください。



S サカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室 フリーダイヤル  0120-575101

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 引出し「ローラー仕様」の等分布耐荷重（引出し全面に均等に物を置いた場合）は、**80kg／段**

引出し「ボールスライドレール仕様」の等分布耐荷重（引出し全面に均等に物を置いた場合）は、**70kg／段**

スライド棚の等分布耐荷重（スライド棚全面に均等に物を置いた場合）は、**80kg／段**

ボックス棚の等分布耐荷重（ボックス棚全面に均等に物を置いた場合）は、**150kg／段**

但しボックスの等分布耐荷重（ボックス全面に均等に物を置いた場合）は、

HK-145T（透明）	12kg
HK-245T（透明）	20kg
HK-145G（グリーン）	12kg
HK-245G（グリーン）	20kg

棚板の等分布耐荷重（棚板全面に均等に物を置いた場合）は、**300kg／段**

パンチングパネルの許容荷重は、**70kg**

各オプションの許容荷重は、

MF-11	2kg	CKF-01	1kg
MF-11L	2kg	CKF-02	1kg
MF-12	2kg	CKF-03	1kg
MF-12L	2kg	CKF-04	1kg
MF-13	2kg	CKF-05	1kg
MF-13L	2kg	CKF-06	1kg
MF-14	2kg	CKF-07	0.5kg
MF-14L	2kg	CKF-08	0.5kg
MF-15	2kg	CKF-09	1kg
MF-15L	2kg	CKF-10	2kg
MF-16	2kg	CKF-11	2kg
MF-16L	2kg	CKF-12	2kg
MF-17	4kg	CKF-13	2kg
MF-17S	4kg		
MF-18	4kg		
MF-19	1kg		
MF-20	5kg		
MF-21	10kg		
MF-24	2kg		
MF-24L	2kg		

仕切棚の等分布耐荷重（仕切棚全面に均等に物を置いた場合）は、**150kg／段**

但し仕切板に側面荷重は掛けしないで下さい。仕切ボールの等分布耐荷重（仕切ボール全面に均等に物を置いた場合）は、**70kg／段**

但し仕切ボールの側面荷重は、**30kg／2本**

ホイルフレームの等分布耐荷重（ホイルフレーム全面に均等に物を置いた場合）は、**70kg／段**

サポーターの側面荷重は、**10kg／本**

積載荷重は、耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の事故の原因となる恐れがあります。

2. 製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
3. 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、綿め直して下さい。ゆるんだままで使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
4. 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
5. 引出しやスライド棚はゆっくりと引いて下さい。強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちる恐れがあります。
6. 引出しやスライド棚を引いたまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
7. 転倒防止のため、重い物は下段に入れて置いて下さい。また、引出し付、スライド棚付のものは、同時に二つ以上引出さないで下さい。
8. 可動部（扉、引出し、スライド棚など）の隙間に指を入れますと、指をはさみ事故につながる恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
9. 製品の設置は必ずアジャスターで調整し、水平を保って下さい。水平が保れてないと扉が閉まらなかったり、鍵が掛からない恐れがあります。また、前倒れの状態で設置しますと、扉が開いたり、引出しが飛び出るなど転倒や破損事故の原因となります。
10. この製品を移動するときは、この説明書にしたがって引出し等を出し、基本体のワクにして、新たな設置場所でレベル調整からはじめて下さい。
11. 樹脂製ボックスはゆっくりと引いて下さい。強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちる恐れがあります。
12. 樹脂製ボックスは比較的衝撃にもろい性質がありますので、衝撃を加えますと損傷の原因となります。
13. 樹脂製ボックスには油類や液状の薬品類を入れないで下さい。場合によっては、化学反応を起こし事故等の原因となります。
14. 収納物が樹脂製ボックスからはみ出した状態でご使用にならないで下さい。落下等の事故の原因となります。
15. 設置には安全性を高めるため、転倒防止金具等を用意致しておりますのでご相談下さい。
16. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当るところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
4. 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. この製品の鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品等は保管しないで下さい。
【Gタイプ、W1200タイプ及び鍵付（OP）】
6. 鍵を掛けるときは、全ての引出しを確実に閉めて下さい。閉まっていないと鍵は掛かりません。
【Gタイプ、W1200タイプ及び鍵付（OP）】
7. 製品をご使用になる前に鍵番号等は控えて下さい。
【Gタイプ、W1200タイプ及び鍵付（OP）】
8. 鍵を紛失した場合は、鍵番号を確認して、購入先を通じてご注文下さい。（有料となります。）
【Gタイプ、W1200タイプ及び鍵付（OP）】
9. 消耗部品には寿命があります。可動部などに異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
10. アジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
11. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
12. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返して行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

Aタイプ

高さ1,800mm・奥行600mm Aタイプ						
(単体)	(連結)					
	<table> <tr> <th>品 番</th><th>自重</th></tr> <tr> <td>単体 143881 CBR-18AT</td><td>116kg</td></tr> <tr> <td>連結 143882 CBR-18AR</td><td>106kg</td></tr> </table>	品 番	自重	単体 143881 CBR-18AT	116kg	連結 143882 CBR-18AR
品 番	自重					
単体 143881 CBR-18AT	116kg					
連結 143882 CBR-18AR	106kg					

W1200タイプ引出し付

高さ1,800mm・奥行600mm W1200タイプ					
(単体)	<table> <tr> <th>品 番</th><th>自重</th></tr> <tr> <td>144001 CBR-120AI</td><td>250kg</td></tr> </table>	品 番	自重	144001 CBR-120AI	250kg
品 番	自重				
144001 CBR-120AI	250kg				

高さ2,160mm・奥行600mm Aタイプ							
(単体)	(連結)						
<table> <tr> <th>品 番</th><th>自重</th></tr> <tr> <td>単体 143889 CBR-21AT</td><td>146kg</td></tr> <tr> <td>連結 143890 CBR-21AR</td><td>135kg</td></tr> </table>	品 番	自重	単体 143889 CBR-21AT	146kg	連結 143890 CBR-21AR	135kg	
品 番	自重						
単体 143889 CBR-21AT	146kg						
連結 143890 CBR-21AR	135kg						

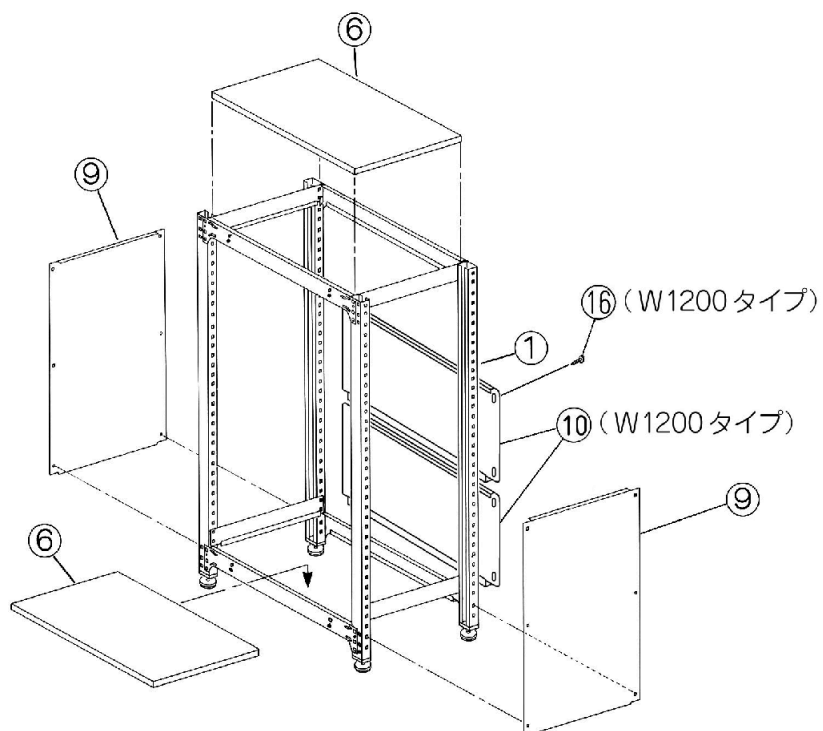
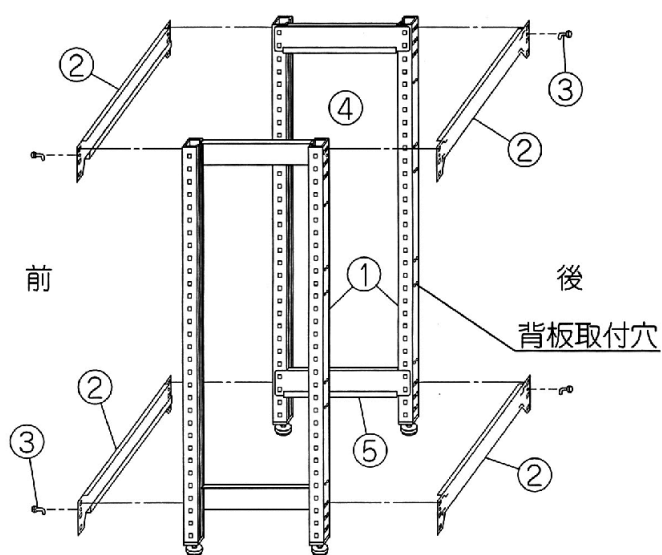
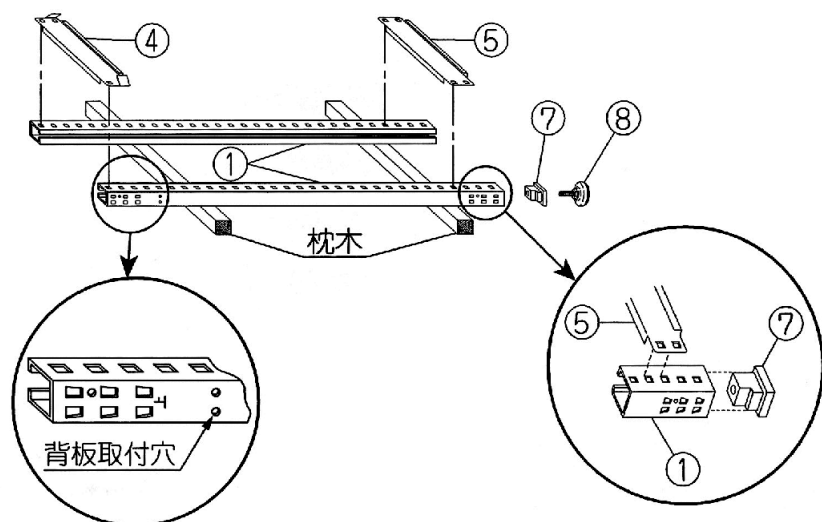
●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量
		CBR-120AI W1200タイプ
1	支 柱 (1800H)	4
2	ビ ー ム	4
3	安全ピン	8
4	天 棚 受	2
5	棚 受	6
6	棚 板	4
7	アジャスターカップ	4
8	アジャスター	4
9	側 板	2
10	背 板	2
11	引出し 150H	5
12	レール受板 (R/L)	10
13	デバイダー	引出し4枚付
14	パーテーション	引出し3枚付
15	トラスタッピングビス (4×60) 2種	20
16	トラスタッピングビス (4×100) 2種	26

●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量			
		CBR-18A		CBR-21A	
		単体	連結	単体	連結
1	支 柱 (1800H、2100H)	4	2	4	2
2	ビ ー ム	4	4	4	4
3	安全ピン	8	8	8	8
4	天 棚 受	2	2	2	2
5	棚 受	6	6	6	6
6	棚 板	4	4	4	4
7	アジャスターカップ	4	2	4	2
8	アジャスター	4	2	4	2
9	側 板	2	1	2	1
10	引 出 し 100H	3	3	3	3
11	引 出 し 150H	2	2	3	3
12	引 出 し 200H	1	1	2	2
13	レール受 (R/L)	6	6	8	8
14	パーテーション	各引出し2枚付			
15	トラスタッピングビス (3×60) 2種	各引出し2枚付			
16	トラスタッピングビス (4×100) 2種	12	12	16	16

《基本体組立図》



《組立て要領》

(注1) 支柱①上下を間違わないで下さい。
(注2) 支柱①前後を間違わないで下さい。
(後用は背板取付穴有り)

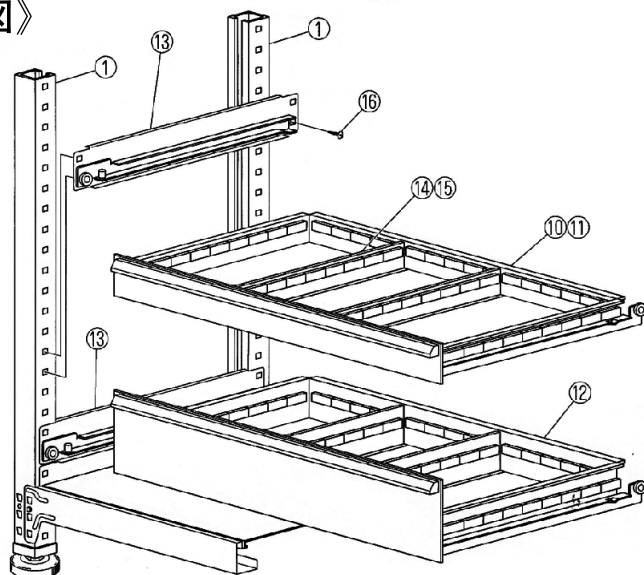
支柱①にアジャスターカップ⑦の切削部が外になる様はめ込んで、アジャスター⑧を根本までねじ込んで下さい。そして天棚受④を図の様に支柱①の最上部の角穴に取りつけ小槌で軽く打込んだ後、棚受⑤を支柱①の内側に下から2つあけて取りつけて下さい。

前項で組み立てた支柱を向かい合わせにして、ビーム②を前後上下各1本ずつ取りつけて、安全ピン③をビームと支柱にセットして下さい。

棚板⑥を天と底にのせて、側板⑨の下方爪部を支柱①の下から2つ目の角穴に合う様に差し込んで下さい。その後、アジャスター⑧にてレベル調整を行なって下さい。

(W1200タイプのみ)
背板⑩を下から順番にトラスタッピングビス⑬で固定して下さい。

《Aタイプ組立図》



レール受⑬はセットした後
浮き上がり防止の為にトラ
スタッピングビス⑯をねじ
込んで下さい。

《Aタイプ組立て方》

〈引出しの組立て方〉

引出しにはパーテーション⑭をトラスタッピングビス⑯であらかじめ任意の場所にセットして下さい。

支柱①の最下段にレール受⑬を水平になる様にセットし、引出しを入れて下さい。

次のレール受⑬は引出し正面板（アルミ把手付）の上にある角穴にセットし、引出しを入れて下さい。

同じ要領でイラスト図の段数までセットして下さい。

〈棚板の組立て方〉

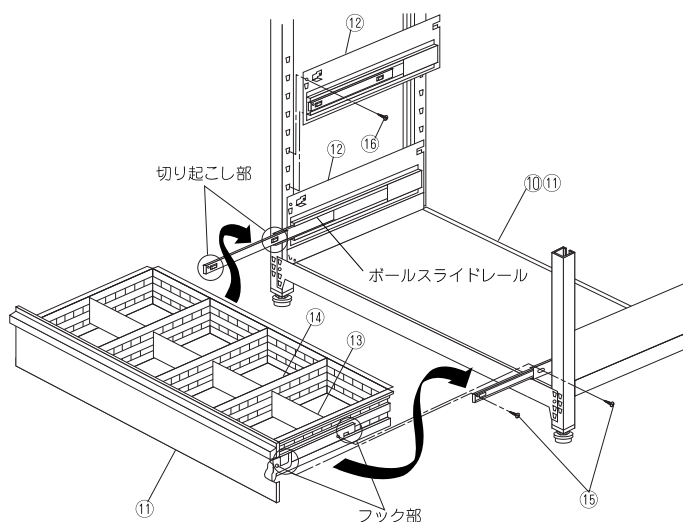
棚受⑤をセットし棚板⑥をのせて下さい。

残りの棚受⑤を任意の場所に取り付け、棚板⑥をセットすれば完了です。

連結の場合、支柱の片側は兼用になり、組立ては単体のくり返しです。

《W1200タイプ引出し付組立図》

レール受板⑫はセットした後
浮き上がり防止の為にトラ
スタッピングビス⑯をね
じ込んで下さい。



〈引出しの組立て方〉

引出しにはパーテーション⑭とデバイダー⑬をあらかじめ任意の場所にセットして下さい。

支柱①の最下段にレール受板⑫を水平になる様にセットし、ボールスライドレールを引出して下さい。次にボールスライドレール切り起こし部に引出し⑪のフック部を差し込みセットし、トラスタッピングビス⑯で引出し⑪を固定して下さい。

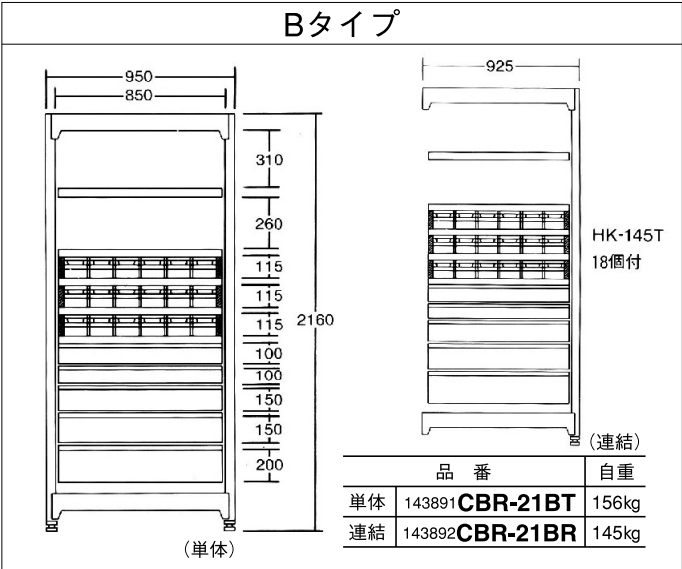
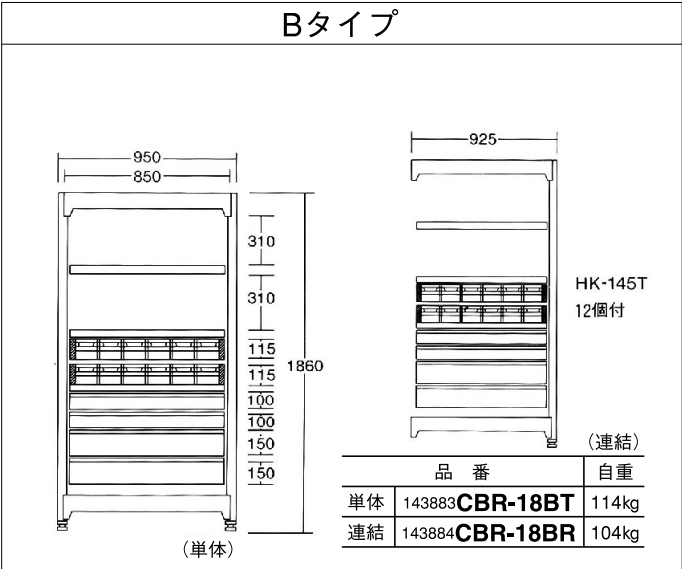
次のレール受板⑫は引出し正面板（アルミ把手付）の上にある角穴にセットし、引出しを入れて下さい。同じ要領でイラスト図の段階までセットして下さい。

〈棚板の組立て方〉

棚受⑤をセットし棚板⑥をのせて下さい。

残りの棚受⑤を任意の場所に取り付け、棚板⑥をセットすれば完了です。

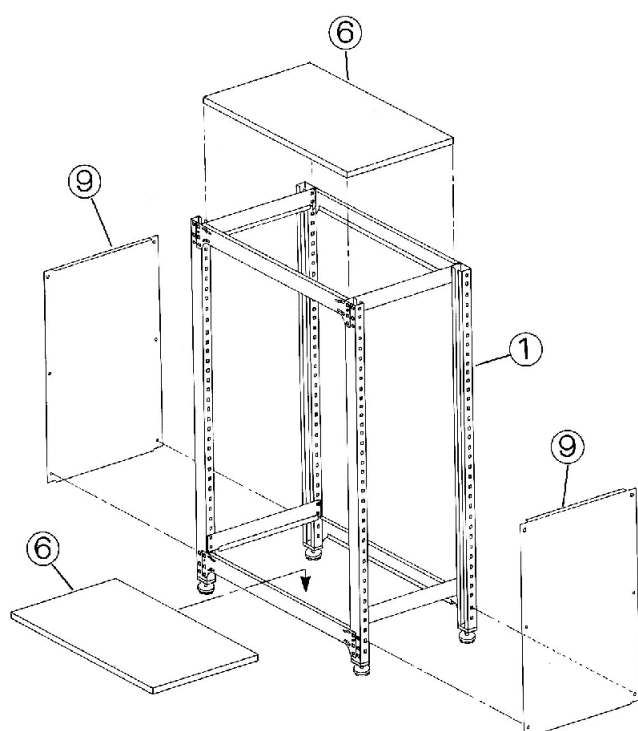
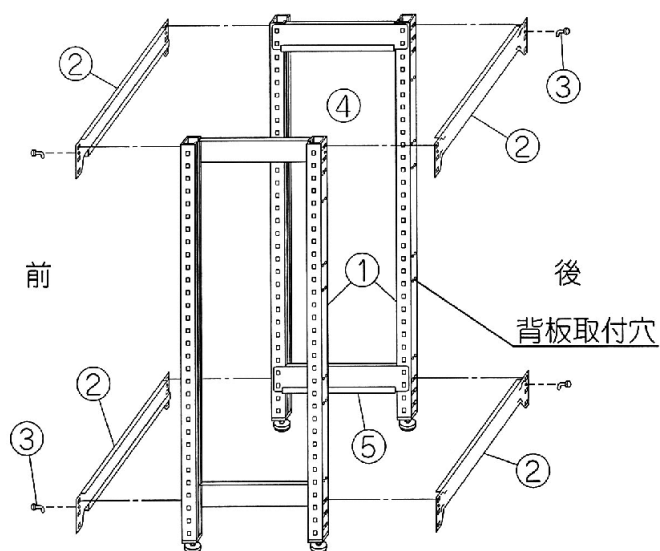
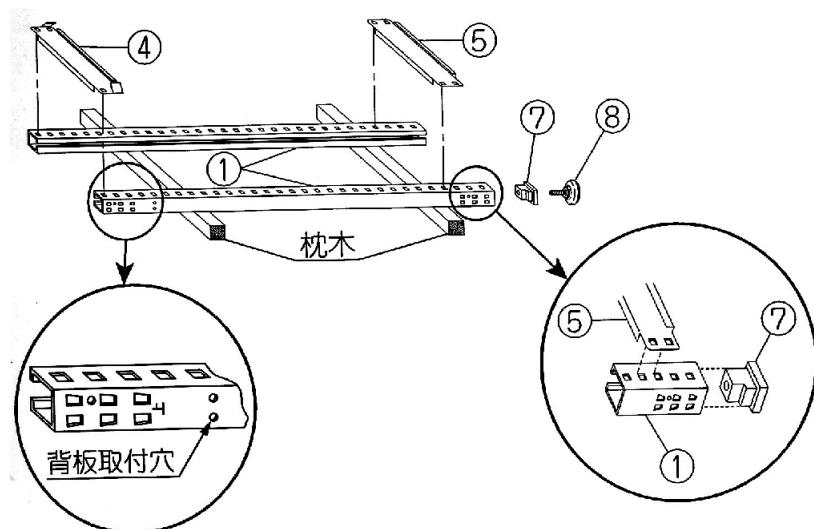
Bタイプ



●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量			
		CBR-18B		CBR-21B	
		単体	連結	単体	連結
1	支 柱 (1800H、2100H)	4	2	4	2
2	ビ ー ム	4	4	4	4
3	安全ピン	12	12	12	12
4	天 棚 受	2	2	2	2
5	棚 受	4	4	4	4
6	棚 板	3	3	3	3
7	アジャスターカップ	4	2	4	2
8	アジャスター	4	2	4	2
9	側 板	2	1	2	1
10	引 出 し 100H	2	2	2	2
11	引 出 し 150H	2	2	2	2
12	引 出 し 200H	—	—	1	1
13	レール受 (R／L)	4	4	5	5
14	パーテーション	各引出し2枚付			
15	トラスタッピングビス (3×60) 2種	各引出し2枚付			
16	ボックス棚	3	3	4	4
17	ボックス棚受	6	6	8	8
18	押え金具	2	2	2	2
19	トラス小ネジ (M6×120)	12	12	16	16
20	ボックスガイド	4	4	6	6
21	ボックスストッパー	2	2	3	3
22	トラスタッピングビス (4×100) 2種	12	12	16	16
23	ボックス (HK-145T)	12	12	18	18

《基本体組立図》



《組立て要領》

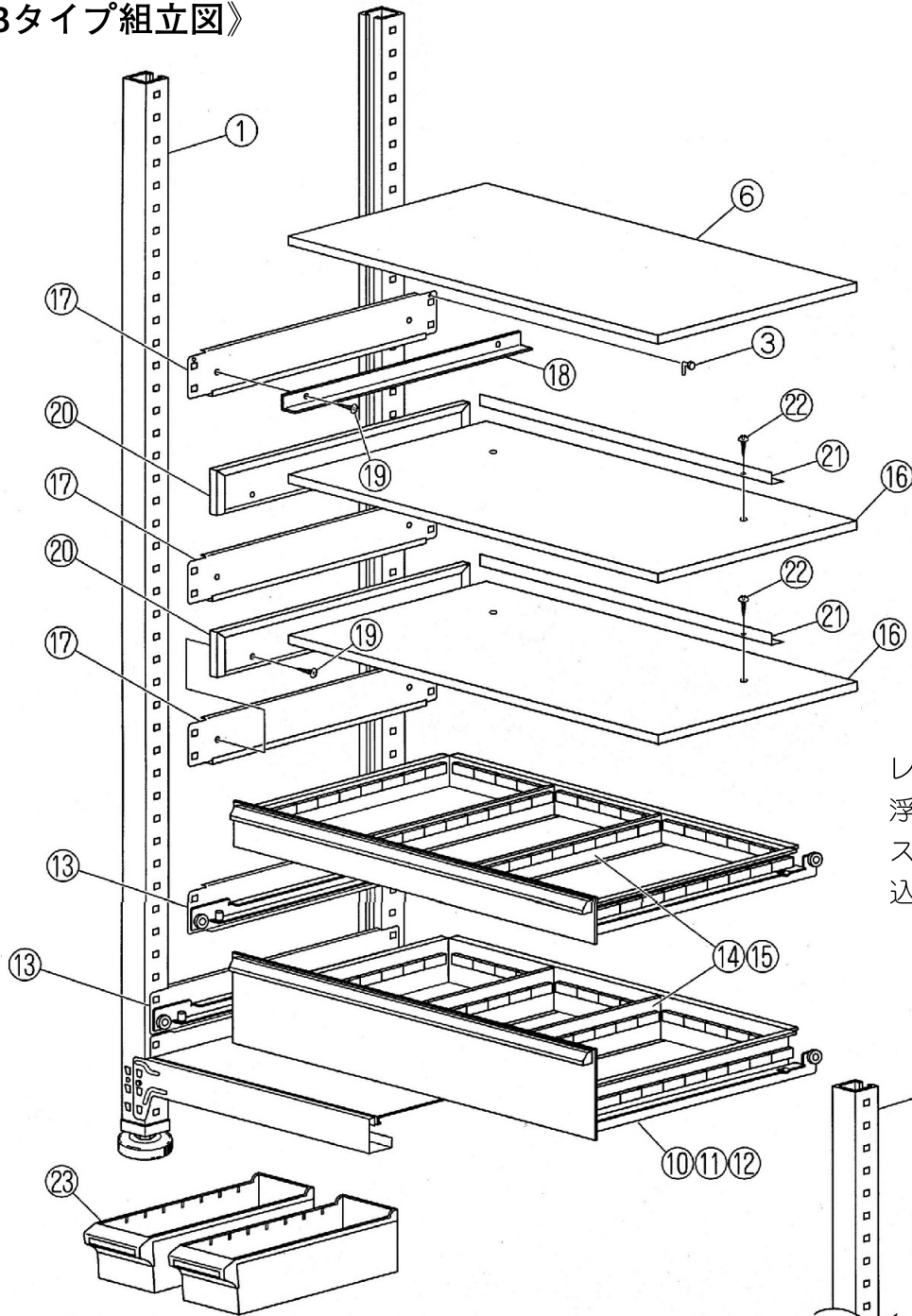
(注1) 支柱①上下を間違わないで下さい。
(注2) 支柱①前後を間違わないで下さい。
(後用は背板取付穴有り)

支柱①にアジャスターカップ⑦の切削部が外になる様はめ込んで、アジャスター⑧を根本までねじ込んで下さい。そして天棚受④を図の様に支柱①の最上部の角穴に取りつけ小槌で軽く打込んだ後、棚受⑤を支柱①の内側に下から2つあけて取りつけて下さい。

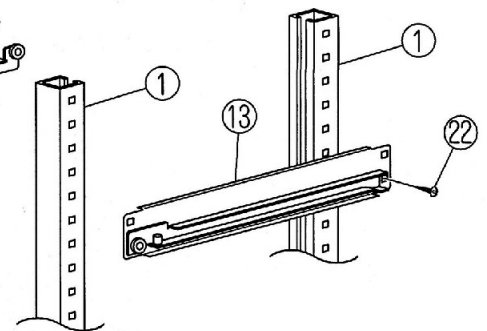
前項で組み立てた支柱を向かい合わせにして、ビーム②を前後上下各1本ずつ取りつけて、安全ピン③をビームと支柱にセットして下さい。

棚板⑥を天と底にのせて、側板⑨の下方爪部を支柱①の下から2つ目の角穴に合う様に差し込んで下さい。その後、アジャスター⑧にてレベル調整を行なって下さい。

《Bタイプ組立図》



レール受⑬はセットした後
浮き上がり防止の為にトラ
スタッピングビス⑳をねじ
込んで下さい。



《Bタイプ組立て方》

〈ボックス棚の組立て方〉

ボックス棚⑬にボックスストッパー⑭をトラスタッピングビス⑳で図の様に取り付けして下さい。

Aタイプの要領で引出しをセットした後、ボックス棚受⑮を取り付け、ボックス棚⑬をのせ、次にボックスガイド⑯をトラス小ネジ⑰でボックス棚受⑮に固定して下さい。

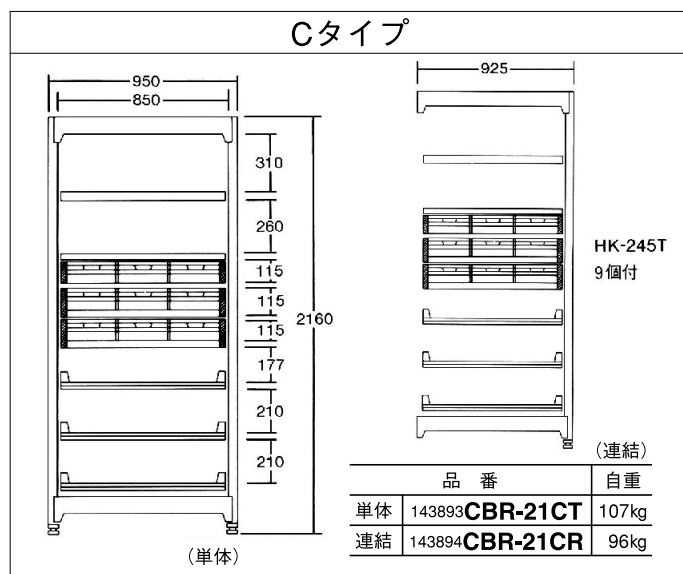
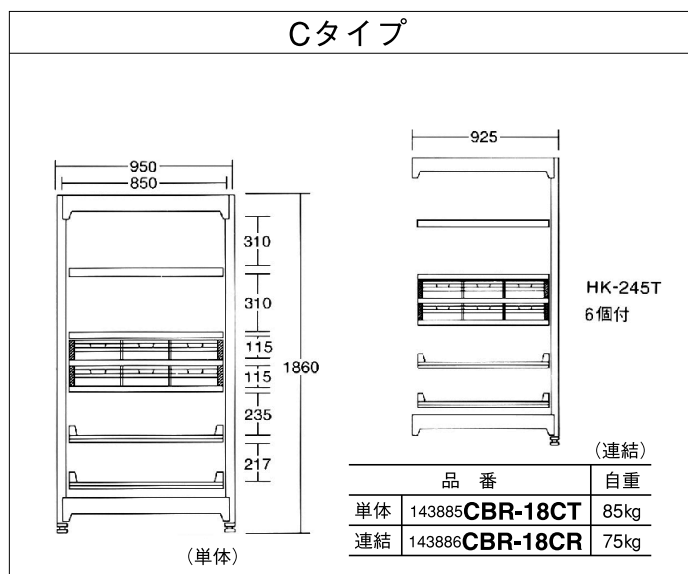
イラスト図の段数までセットした後、押え金具⑱をトラス小ネジ⑰でボックス棚受⑮に固定して、安全ピン③を取り付けて下さい。

〈棚板の組立て方〉

棚受⑤を任意の場所に取り付け、棚板⑥をセットして下さい。

連結の場合、支柱の片側は兼用になり、組立ては単体のくり返しです。

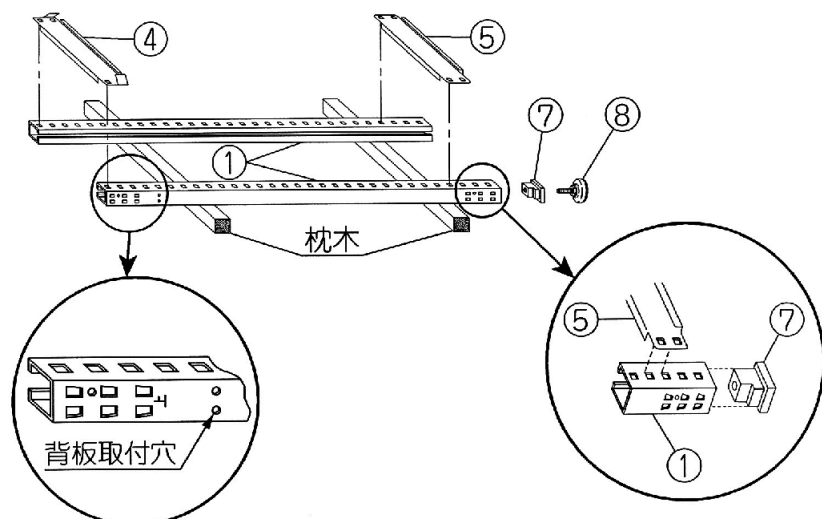
Cタイプ



●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量			
		CBR-18C		CBR-21C	
		単体	連結	単体	連結
1	支 柱 (1800H、2100H)	4	2	4	2
2	ビ ー ム	4	4	4	4
3	安全ピン	12	12	12	12
4	天 棚 受	2	2	2	2
5	棚 受	4	4	4	4
6	棚 板	3	3	3	3
7	アジャスターカップ	4	2	4	2
8	アジャスター	4	2	4	2
9	側 板	2	1	2	1
10	レール受 (R/L)	2	2	3	3
11	スライド棚	2	2	3	3
12	ボックス棚	3	3	4	4
13	ボックス棚受	6	6	8	8
14	押え金具	2	2	2	2
15	トラス小ネジ (M6×120)	12	12	16	16
16	ボックスガイド	4	4	6	6
17	ボックスストッパー	2	2	3	3
18	トラスタッピングビス (4×100) 2種	8	8	12	12
19	ボックス (HK-245T)	6	6	9	9

《基本体組立図》

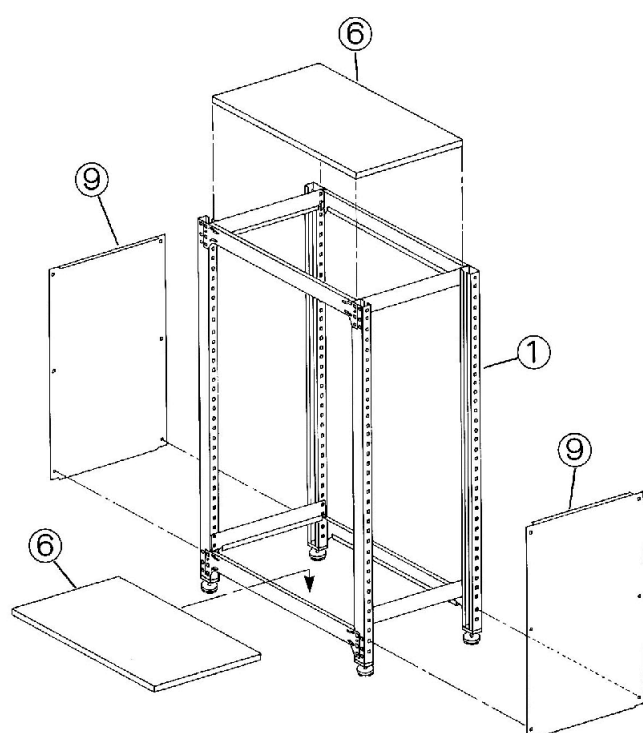
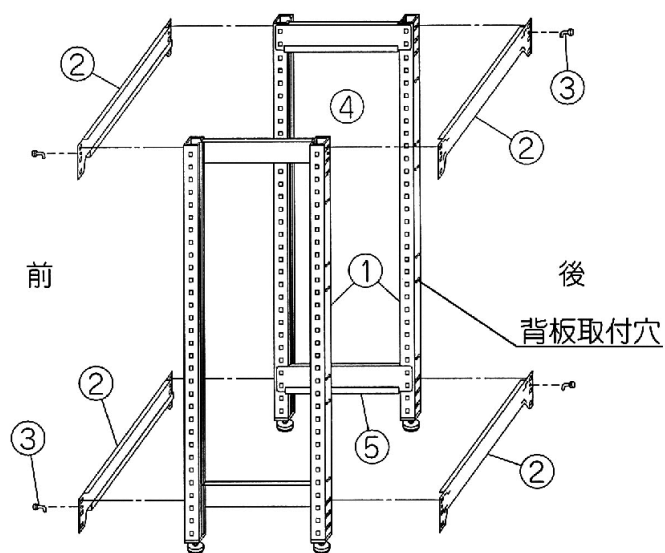


《組立て要領》

(注1) 支柱①上下を間違わないで下さい。
 (注2) 支柱①前後を間違わないで下さい。
 (後用は背板取付穴有り)

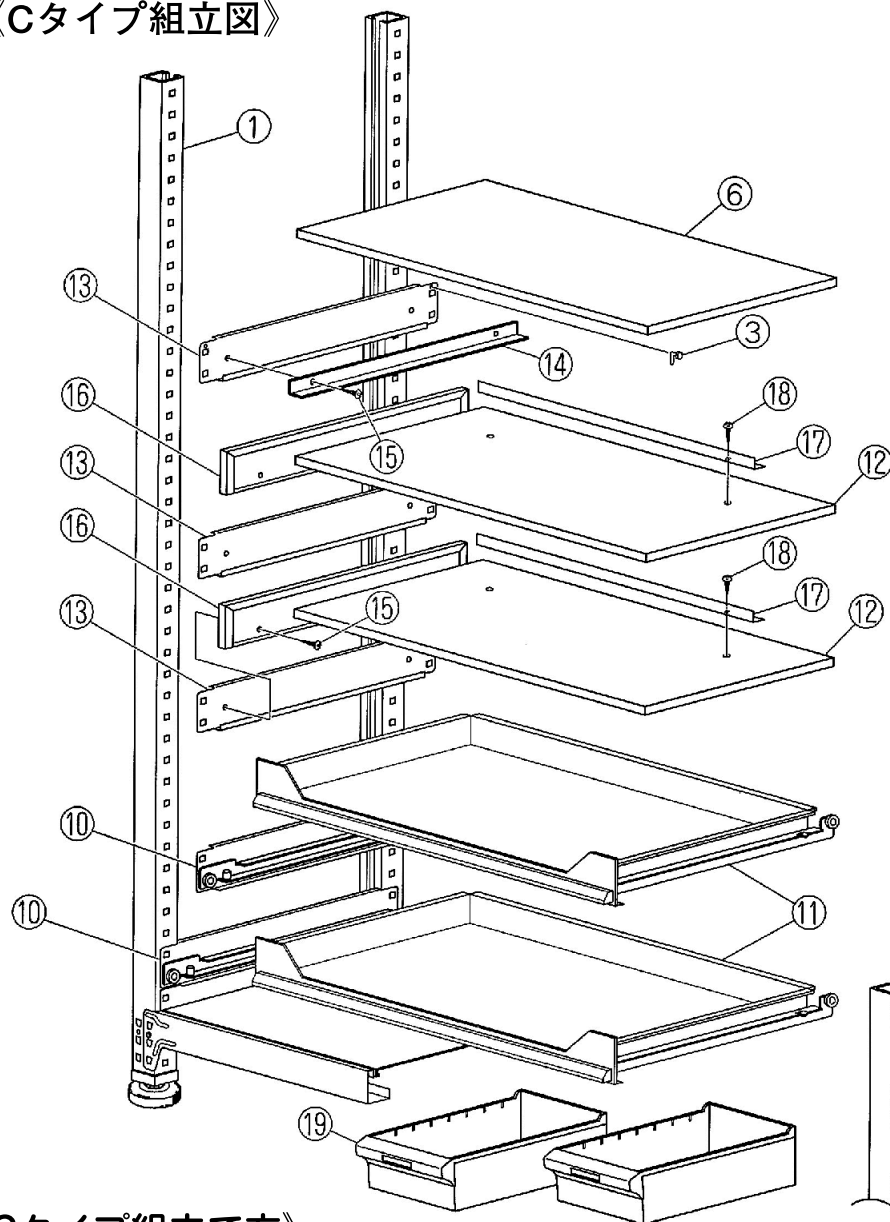
支柱①にアジャスターカップ⑦の切削部が外になる様はめ込んで、アジャスター⑧を根本までねじ込んで下さい。そして天棚受④を図の様に支柱①の最上部の角穴に取りつけ小槌で軽く打込んだ後、棚受⑤を支柱①の内側に下から2つあけて取りつけて下さい。

前項で組み立てた支柱を向かい合わせにして、ビーム②を前後上下各1本ずつ取りつけて、安全ピン③をビームと支柱にセットして下さい。

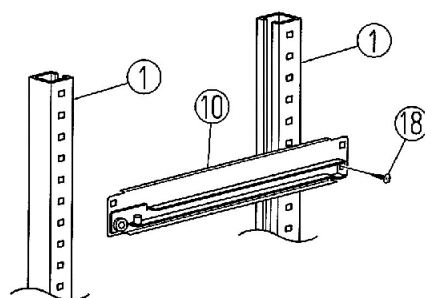


棚板⑥を天と底にのせて、側板⑨の下方爪部を支柱①の下から2つ目の角穴に合う様に差し込んで下さい。その後、アジャスター⑧にてレベル調整を行なって下さい。

《Cタイプ組立図》



レール受⑩はセットした後
浮き上がり防止の為にトラ
スタッピングビス⑱をねじ
込んで下さい。



《Cタイプ組立て方》

〈ボックス棚組立て方〉

ボックス棚⑫にボックスストッパー⑰をトラスタッピングビス⑱で図の様に取付けて下さい。

《H1800タイプ》

支柱①の内側、下より11ヶ目と12ヶ目の角穴にボックス棚受⑬を取付けて下さい。そしてボックス⑲をセットして下さい。

《H2000タイプ》

支柱①の内側、下より15ヶ目と16ヶ目の角穴にボックス棚受⑬を取付けて下さい。

上記ボックス棚受⑬を取付けた後ボックス棚をのせ、次にボックスガイド⑯をトラス小ネジ⑮でボックス棚受⑬に固定して下さい。イラストの段数までセットした後、押え金具⑭をトラス小ネジ⑮でボックス棚受⑬に固定した安全ピン③を取付けて下さい。そしてボックス⑬をセットして下さい。

〈棚板の組立て方〉

レール受⑩を支柱①の内側、最下部に取り付けスライド棚⑪をセットして下さい。次にレール受⑩を角穴3つあけた上部に取り付けスライド棚をセットして下さい。

H1200の場合は、同じ要領でもう一段セットして下さい。そして棚受⑤を任意の場所に取り付け、棚板⑥をセットして下さい。

連結の場合、支柱の片側は兼用になり、組立ては単体のくり返しです。

Dタイプ

Dタイプ

	品番	自重
単体	143887 CBR-18DT	72kg
連結	143888 CBR-18DR	62kg

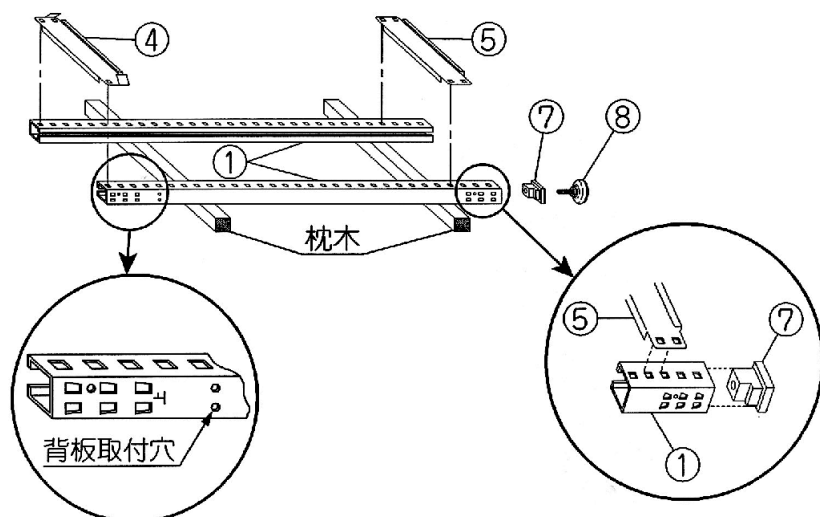
Dタイプ

	品番	自重
単体	143895 CBR-21DT	93kg
連結	143896 CBR-21DR	82kg

●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量			
		CBR-18D		CBR-21D	
		単体	連結	単体	連結
1	支 柱(1800H、2100H)	4	2	4	2
2	ビ ー ム	4	4	4	4
3	安全ピン	8	8	8	8
4	天 棚 受	2	2	2	2
5	棚 受	6	6	6	6
6	棚 板	4	4	4	4
7	アジャスターカップ	4	2	4	2
8	アジャスター	4	2	4	2
9	側 板	2	1	2	1
10	レール受 (R／L)	3	3	5	5
11	スライド棚	3	3	5	5
12	トラスタッピングビス	6	6	10	10

《基本体組立図》



《組立て要領》

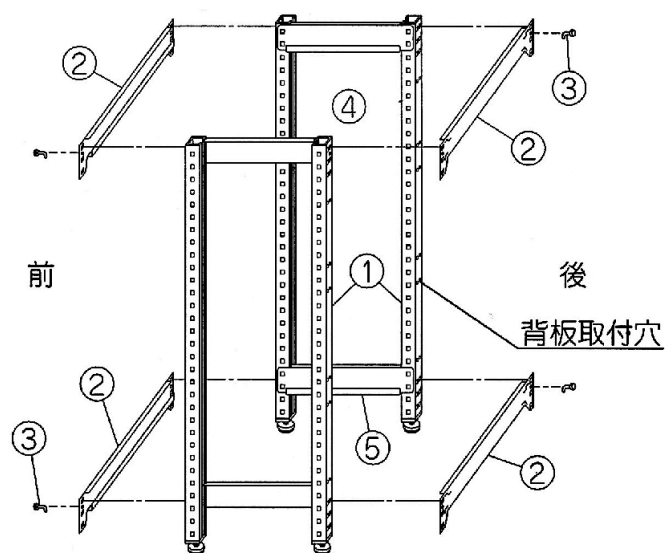
（注1）支柱①上下を間違わないで下さい。

（注2）支柱①前後を間違わないで下さい。

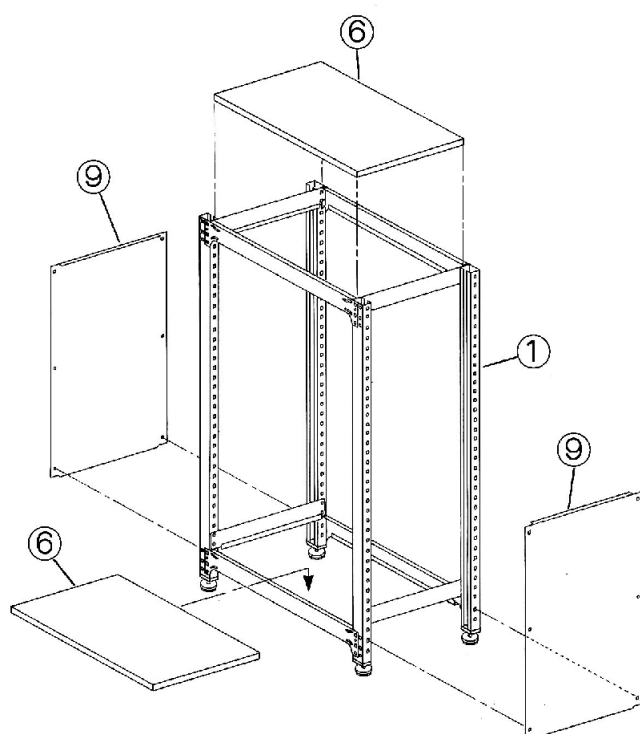
（後用は背板取付穴有り）

支柱①にアジャスターカップ⑦の切削部が外になる様はめ込んで、アジャスター⑧を根本までねじ込んで下さい。そして天棚受④を図の様に支柱①の最上部の角穴に取りつけ小槌で軽く打込んだ後、棚受⑤を支柱①の内側に下から2つあけて取りつけて下さい。

前項で組み立てた支柱を向かい合わせにして、ビーム②を前後上下各1本ずつ取りつけて、安全ピン③をビームと支柱にセットして下さい。

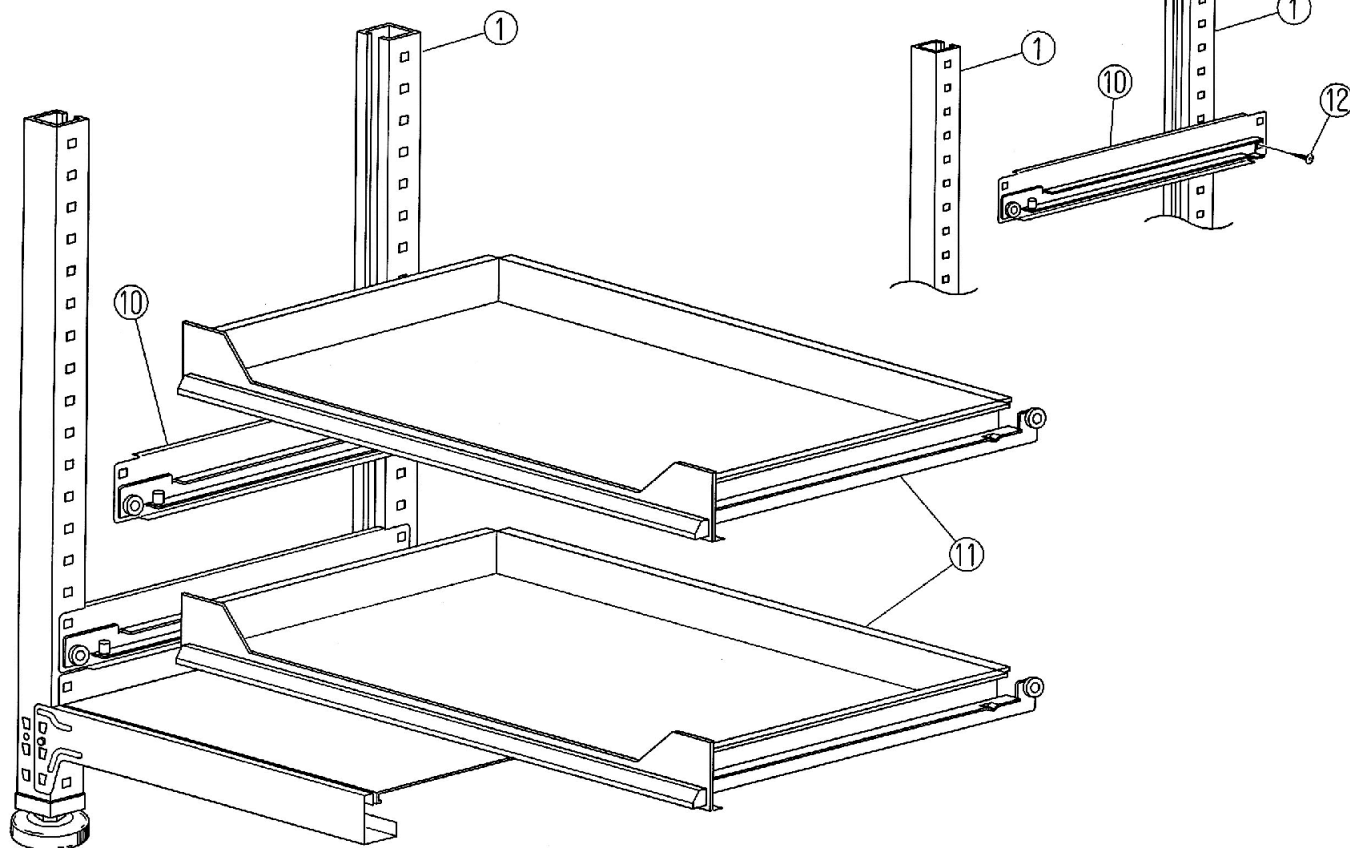


棚板⑥を天と底にのせて、側板⑨の下方爪部を支柱①の下から2つ目の角穴に合う様に差し込んで下さい。その後、アジャスター⑧にてレベル調整を行なって下さい。



《Dタイプ組立図》

レール受⑩はセットした後
浮き上がり防止の為にトラ
スタッピングビス⑫をねじ
込んで下さい。



《Dタイプ組立て方》

〈棚板の組立て方〉

棚受⑤を支柱①の内側最上部（角穴が見える箇所）より5ヶ所あけて差し込み、棚板⑥をセットして下さい。

次にH1800タイプは、同じく5ヶ所あけて
H2100タイプは4ヶ所あけてセットして下さい。

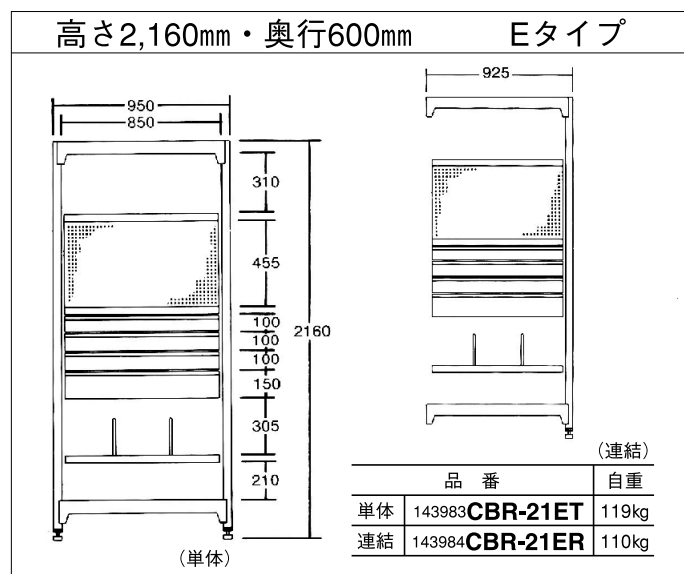
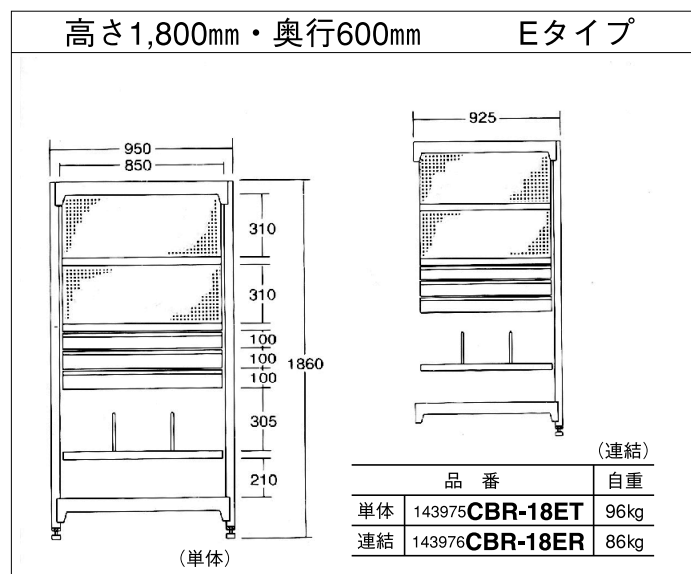
〈スライド棚組立て方〉

レール受⑩を支柱①の内側最下部に取り付け、
スライド棚⑪をセットして下さい。次にレ
ール受⑩を角穴3つあけて取り付け、スラ
イド棚⑪をセットして下さい。

同じ要領でイラスト図の段数までセットす
れば完了です。

連結の場合、支柱の片側は兼用になり、
組立ては単体のくり返しです。

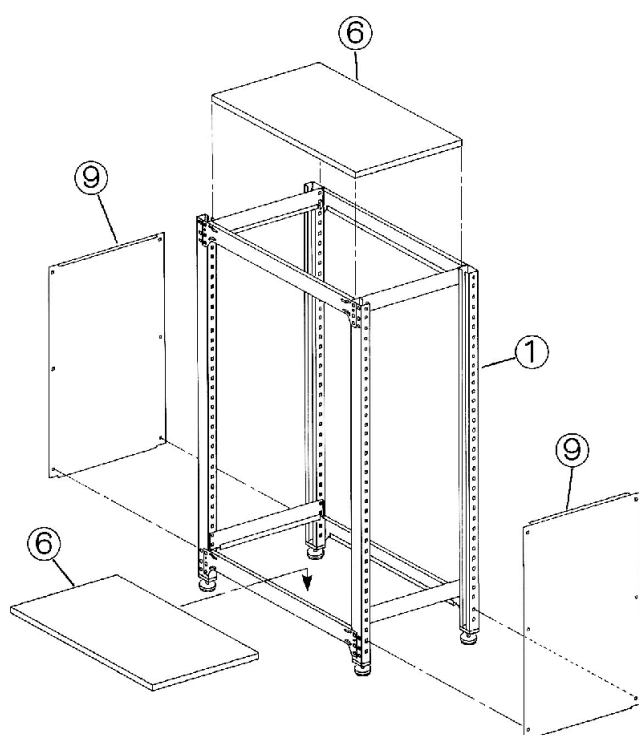
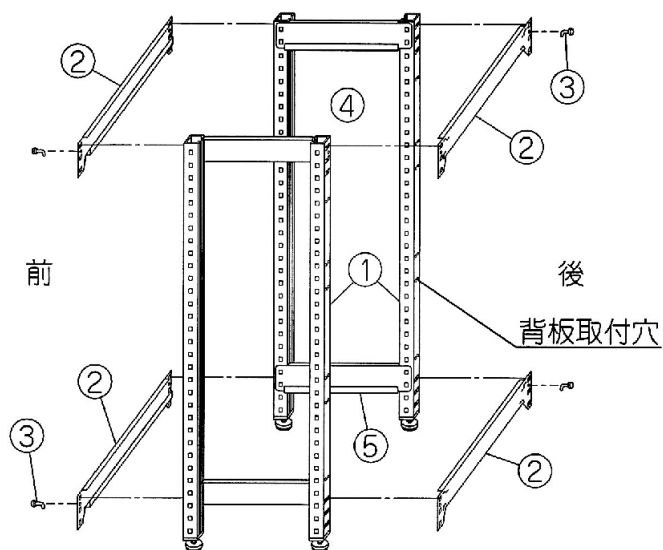
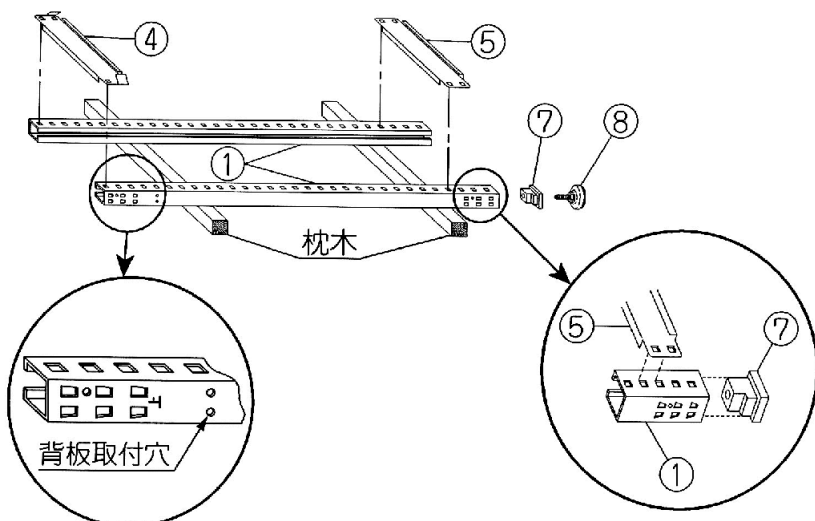
Eタイプ



●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量			
		CBR-18E		CBR-21E	
		単体	連結	単体	連結
1	支 柱 (1800H、2100H)	4	2	4	2
2	ビ ー ム	4	4	4	4
3	安全ピン	8	8	8	8
4	天 棚 受	2	2	2	2
5	棚 受	8	8	8	8
6	棚 板	4	4	4	4
7	アジャスターカップ	4	2	4	2
8	アジャスター	4	2	4	2
9	側 板	2	1	2	1
10	引 出 し 100H	3	3	3	3
11	引 出 し 150H	—	—	1	1
12	レール受 (R/L)	3	3	4	4
13	パーテーション	各引出し2枚付			
14	トラスタッピングビス (3×60) 2種	各引出し2枚付			
15	パンチングパネル	2	2	1	1
16	パネル取付板 (R/L)	2	2	1	1
17	仕 切 棚	1	1	1	1
18	仕 切 板	2	2	2	2
19	トラス小ネジ (M6×350)	8	8	8	8
20	平座金 (M6用)	8	8	8	8
21	トラスタッピングビス (4×100) 2種	6	6	8	8

《基本体組立図》



《組立て要領》

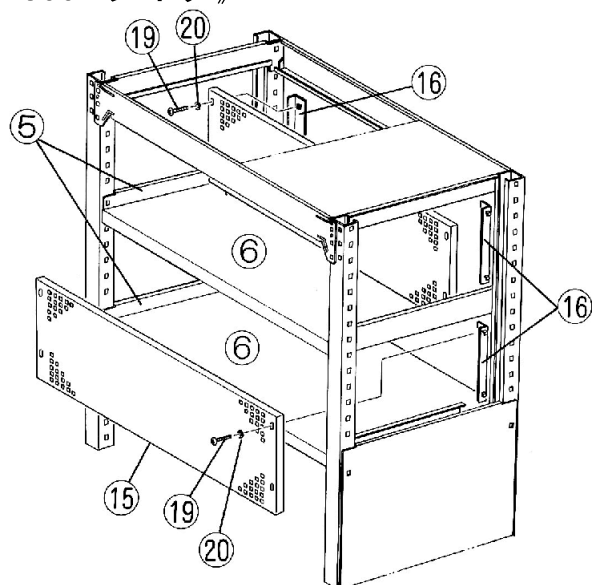
(注1) 支柱①上下を間違わないで下さい。
(注2) 支柱①前後を間違わないで下さい。
(後用は背板取付穴有り)

支柱①にアジャスターカップ⑦の切削部が外になる様はめ込んで、アジャスター⑧を根本までねじ込んで下さい。そして天棚受④を図の様に支柱①の最上部の角穴に取りつけ小槌で軽く打込んだ後、棚受⑤を支柱①の内側に下から2つあけて取りつけて下さい。

前項で組み立てた支柱を向かい合わせにして、ビーム②を前後上下各1本ずつ取りつけて、安全ピン③をビームと支柱にセットして下さい。

棚板⑥を天と底にのせて、側板⑨の下方爪部を支柱①の下から2つ目の角穴に合う様に差し込んで下さい。その後、アジャスター⑧にてレベル調整を行なって下さい。

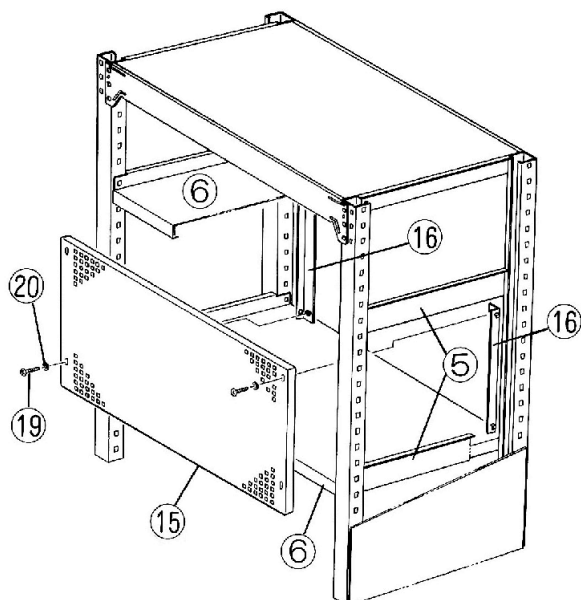
《H1800Eタイプ》



《H1800Eタイプ組立て方》

パネル取付板⑬を支柱①の内側後方の最上部にセットして下さい。次に棚受⑤、パネル取付板⑬、棚受⑤、レール受⑫ 3段を順次左右にセットして下さい。そして棚受⑤の上に棚板⑥を2段のせ、次にレール受⑫に引出し⑩をセットして下さい。パンチングパネル⑮を正面よりパネル取付板⑬にトラス小ネジ⑭、平座金⑯で上下2枚取り付けて下さい。

《H2100Eタイプ》



《H2100Eタイプ組立て方》

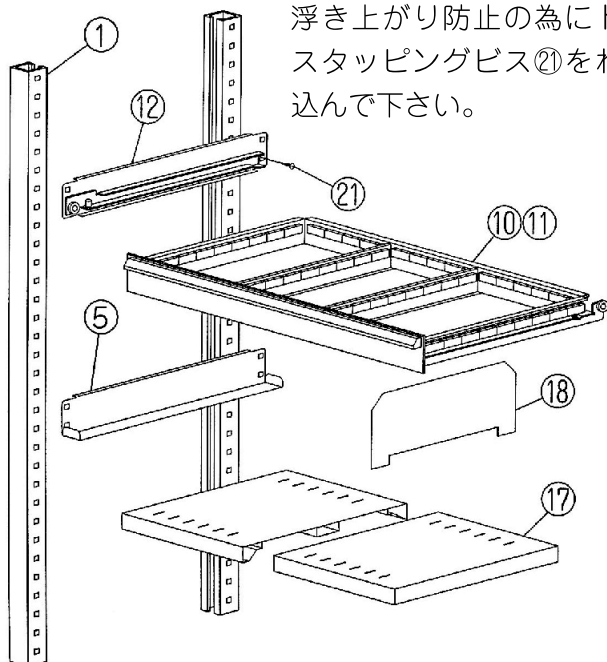
棚受⑤を支柱①の内側最上部(角穴が見える箇所)より5つあけてセットして下さい。そしてパネル取付板⑬を支柱①の内側後方にセットした後、棚受⑤をセットし、次にレール受⑫を3段セットした後、角穴1つあけて(引出し150H用)レール受⑫をセットして下さい。そして棚板⑥を上2段のせ、その間にパンチングパネル⑮を正面よりパネル取付板⑬にトラス小ネジ⑭、平座金⑯で取り付けて下さい。そして引出し⑩を上から3段セットし、次に引出し⑪をセットして下さい。

レール受⑫はセットした後
浮き上がり防止の為にトラス
スタッピングビス⑰をねじ
込んで下さい。

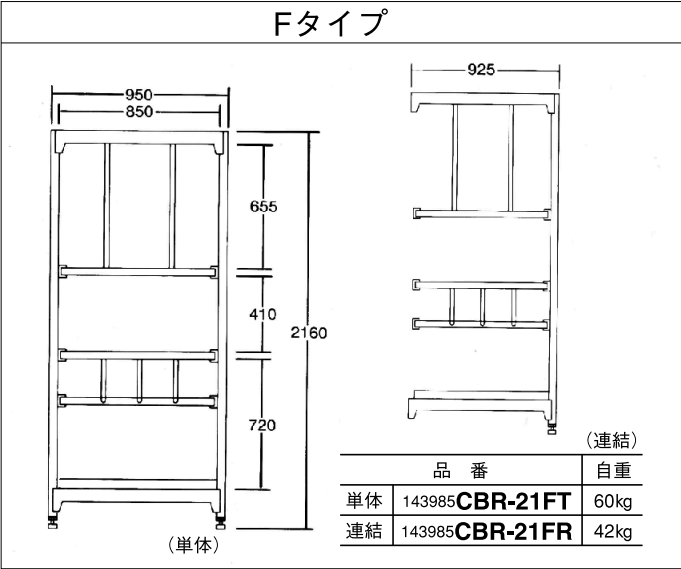
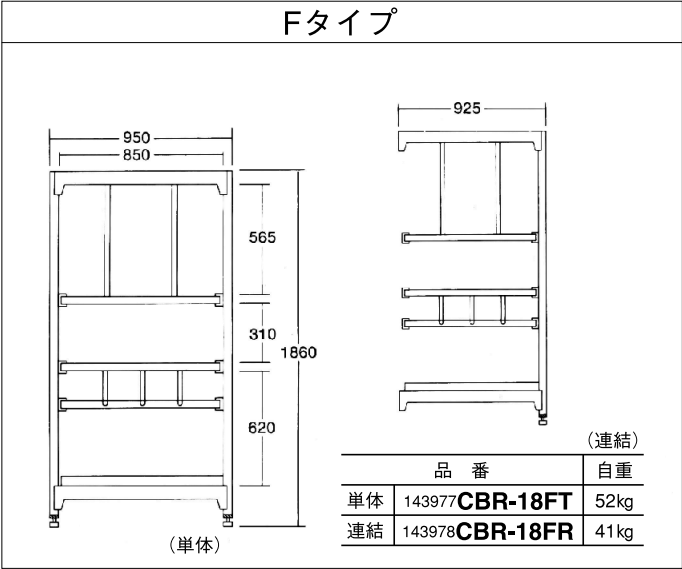
《仕切棚の組立て方》

棚受⑤を最下部より角穴3つあけて左右に取り付けた後、仕切棚⑱をセットし、仕切板⑲を差し込んで完了です。

連結の場合、支柱の片側は兼用になり、
組立ては単体のくり返しです。



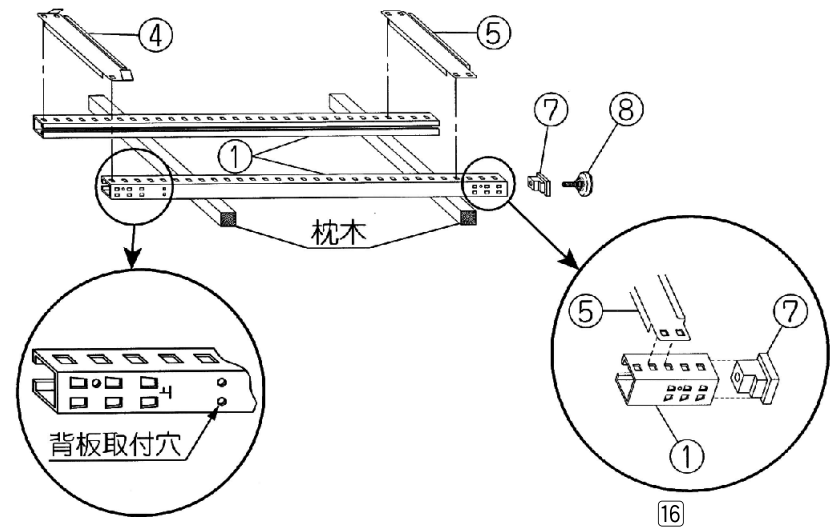
Fタイプ



●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量				番 号	品 名	数 量			
		CBR-18F		CBR-21F				CBR-18F		CBR-21F	
		単体	連結	単体	連結			単体	連結	単体	連結
1	支 柱(1800H、2100H)	4	2	4	2	12	フレーム受	6	6	6	6
2	ビ ー ム	4	4	4	4	13	フレーム受取付板	6	6	6	6
3	安全ピン	8	8	8	8	14	仕切バー	4	4	4	4
4	天 受	2	2	2	2	15	倒れ止め	3	3	3	3
5	棚 受	2	2	2	2	16	倒れ止め取付板	3	3	3	3
6	棚 板	1	1	1	1	17	コボレ止め	2	2	2	2
7	アジャスターカップ	4	2	4	2	18	六角ボルト (M8×20ℓ)	16	16	16	16
8	アジャスター	4	2	4	2	19	六角ボルト (M8×55ℓ)	16	16	16	16
9	側 板	2	1	2	1	20	平 座 金 (M8用)	48	48	48	48
10	仕 切 棚	1	1	1	1	21	六角ナット (M8用)	16	16	16	16
11	枠フレーム	8	8	8	8	22	六角ボルト (M8×40ℓ)	3	3	3	3

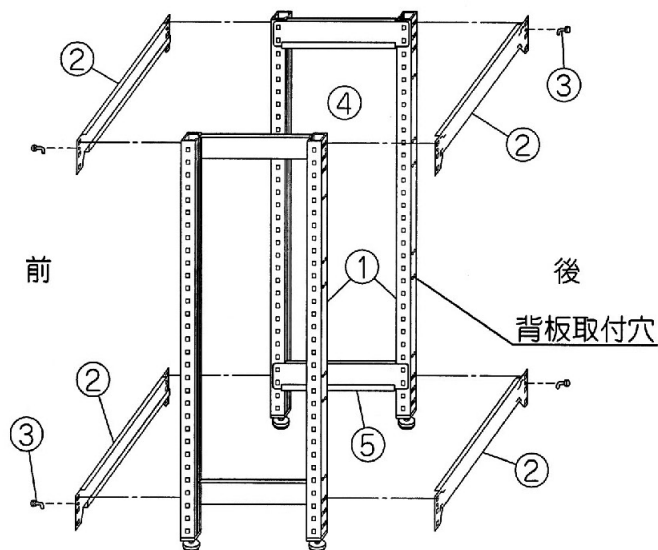
《基本体組立図》



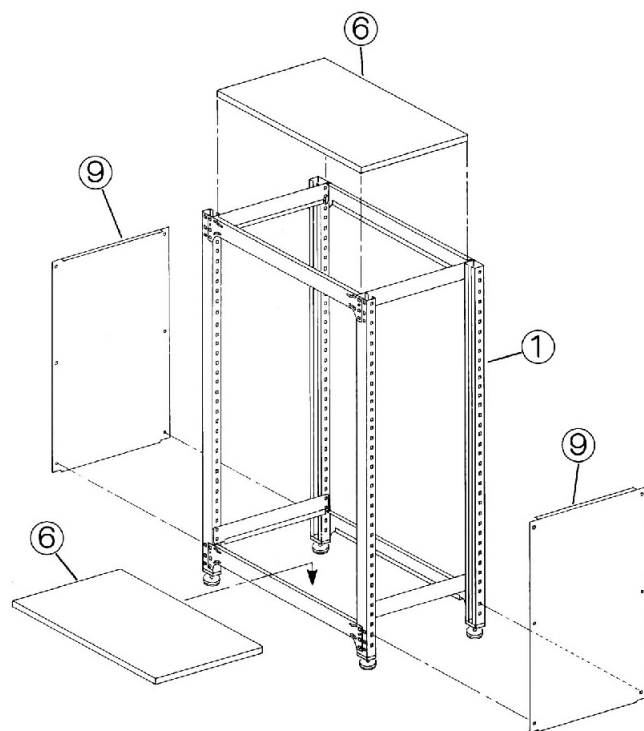
《組立て要領》

(注1) 支柱①上下を間違わないで下さい。
(注2) 支柱①前後を間違わないで下さい。
(後用は背板取付穴有り)

支柱①にアジャスターカップ⑦の切削部が外になる様はめ込んで、アジャスター⑧を根本までねじ込んで下さい。そして天棚受④を図の様に支柱①の最上部の角穴に取りつけ小槌で軽く打込んだ後、棚受⑤を支柱①の内側に下から2つあけて取りつけて下さい。



前項で組み立てた支柱を向かい合わせにして、ビーム②を前後上下各1本ずつ取りつけて、安全ピン③をビームと支柱にセットして下さい。



棚板⑥を天と底にのせて、側板⑨の下方爪部を支柱①の下から2つ目の角穴に合う様に差し込んで下さい。その後、アジャスター⑧にてレベル調整を行なって下さい。

天棚（棚板⑥）は仕切棚⑩を使用して下さい。
文章〈 〉内はH2100タイプを示す。

① フレーム受⑫を支柱①の内側上部より12ヶ目〈14ヶ目〉の角穴に差し込み、枠フレーム⑪をフレーム受⑫の後から2つ目の穴と8ヶ目の穴と前から2つ目の穴に六角ボルト⑬、平座金⑭、六角ナット⑮で取り付け、仕切バー⑯を仕切棚⑩下部の丸穴に差し込み、枠フレーム⑪の角穴に落し込んで下さい。

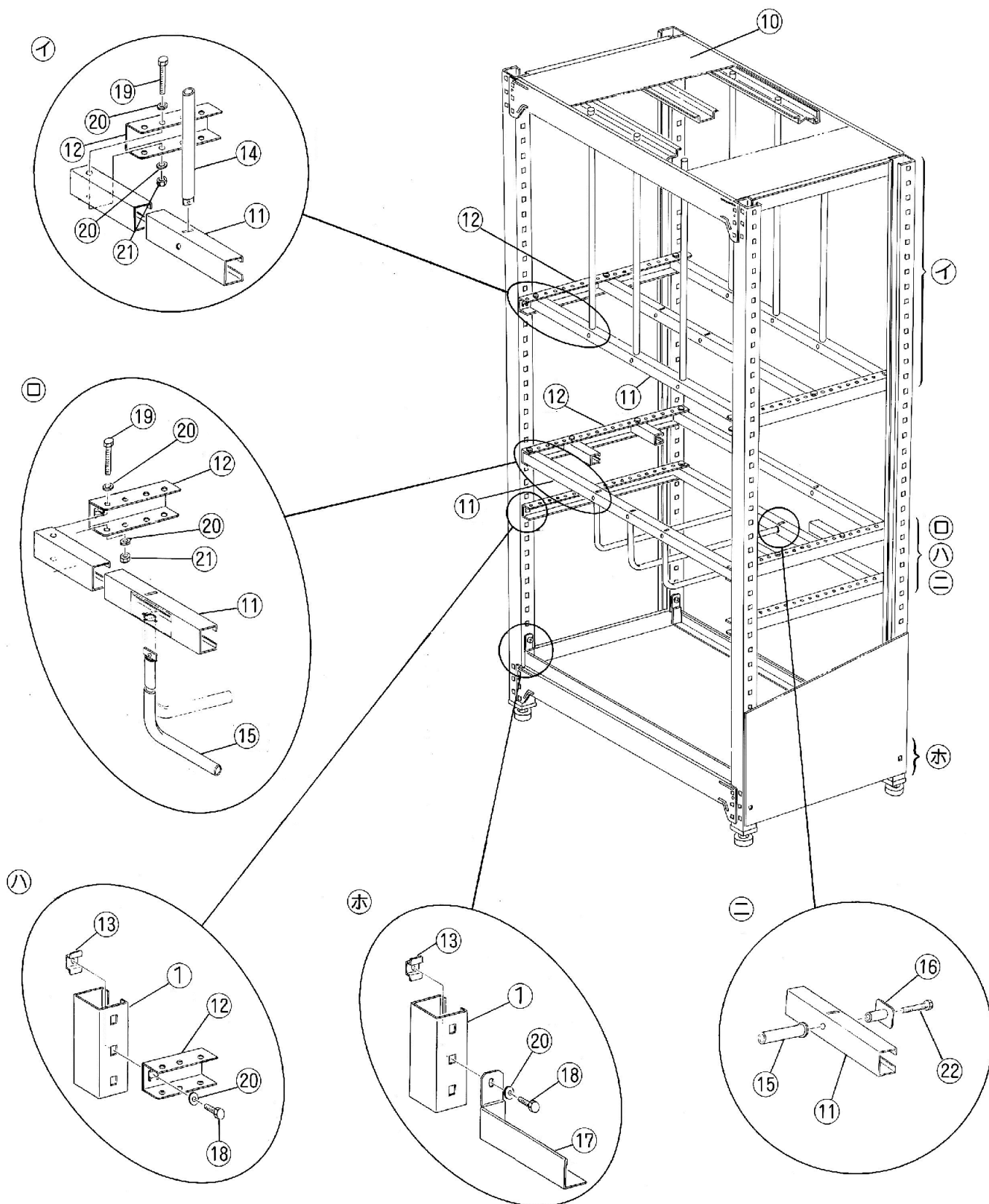
② 次にフレーム受⑫を支柱①の内側に7つ〈9つ〉下に差し込み、枠フレーム⑪を後方より六角ボルト⑬、平座金⑭、六角ナット⑮で仮止めし、中2本は任意の場にセットし、前部を取り付ける前に倒れ止め⑰を枠フレーム⑪の下部の穴部に差し込み、後方に90° 振った状態でフレーム受⑫の前面に六角ボルト⑬、平座金⑭、六角ナット⑮で仮止めして下さい。

③ そして支柱①の4つ下の角穴にフレーム受⑫をセットし、支柱①の内側にフレーム取付板⑯をセットし、六角ボルト⑬、平座金⑭で仮止めして下さい。

④ フレーム受⑫の後方に枠フレーム⑪をセットする時、倒れ止め⑰の端を枠フレーム⑪の丸穴と合わせて後部よりフレーム受⑫に差し込み、六角ボルト⑬、平座金⑭、六角ナット⑮で仮止めし、倒れ止め⑰と枠フレーム⑪を倒れ止め取付板⑰、六角ボルト⑱で締め付けた後、仮止め部をすべてゆるまない様にしっかり固定して下さい。

⑤ そしてコボレ止め⑱をフレーム受取付板⑯、六角ボルト⑬、平座金⑭で締め付けて下さい。最後に、側板⑨の下方爪部を支柱①の下から2つ目の角穴に合う様に差し込んで下さい。

《Fタイプ組立図》



連結の場合、支柱の片側は兼用になり、
組立ては単体のくり返しです。

G タイプ

Gタイプ

(単体)

(連結)

	品 番	自重
単体	143979 CBR-18GT	92kg
連結	143380 CBR-18GR	74kg

Gタイプ

(単体)

(連結)

	品 番	自重
単体	143987 CBR-21GT	112kg
連結	143988 CBR-21GR	87kg

W1200タイプ

W1200タイプ

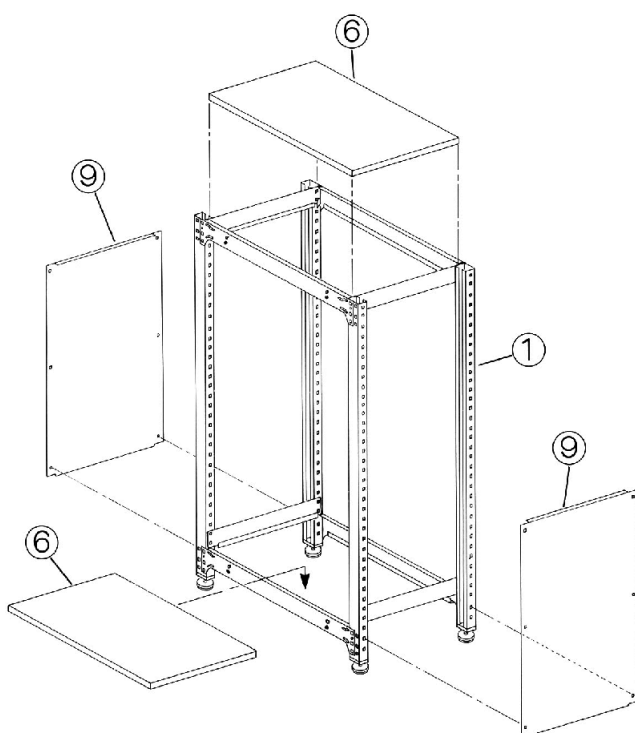
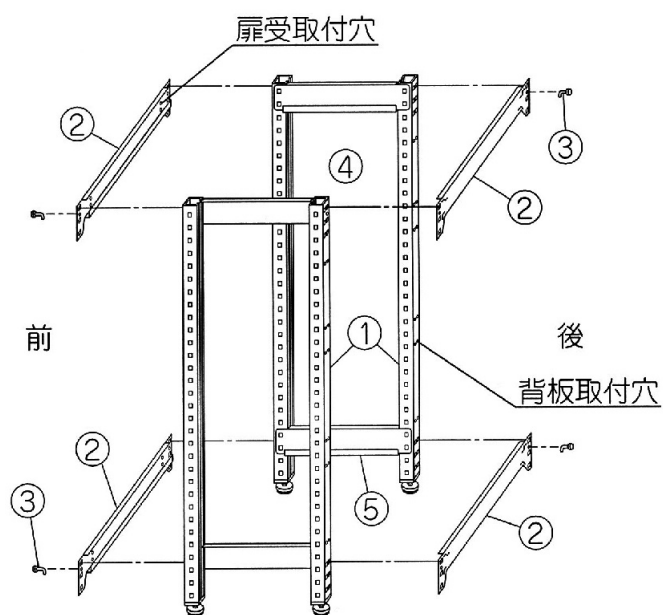
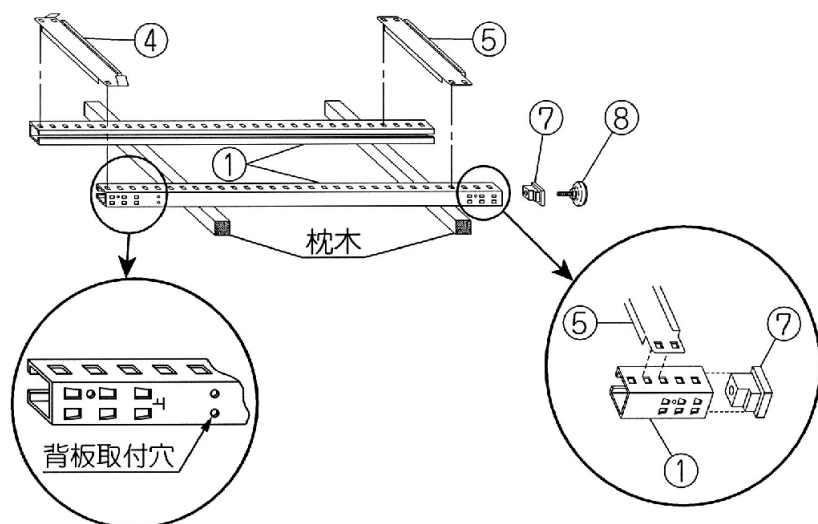
(単体)

品 番	自重
144002 CBR-120GI	115kg

●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量				
		CBR-18G		CBR-21G		CBR-120GI
		単体	連結	単体	連結	W1200タイプ
1	支 柱 (1800H、2100H)	2	1	2	1	2
2	ビ ーム	2	1	2	1	2
3	安全ピン	8	8	8	8	8
4	天 棚 受	2	2	2	2	2
5	棚 受	8	8	10	10	8
6	棚 板	5	5	6	6	5
7	アジャスターカップ	4	2	4	2	4
8	アジャスター	4	2	4	2	4
9	側 板	2	1	2	1	2
10	扉 (1800H、2100H) 1組	1	1	1	1	1
11	扉 受 (上/下)	1	1	1	1	1
12	扉取付用ビーム	2	2	2	2	2
13	背板取付支柱	2	1	2	1	2
14	上部側板	2	1	2	1	2
15	背 板	3	3	3	3	3
16	中 側 板	—	2	—	2	—
17	トラスタッピングビス (4×100) 2種	12	12	12	12	12
18	トラス小ネジ (M6×12)	6	6	6	6	6
19	フランジナット (M6用)	6	6	6	6	6

《基本体組立図》



《組立て要領》

- (注1) 支柱①上下を間違わないで下さい。
 (注2) 支柱①前後を間違わないで下さい。
 (後用は背板取付穴有り)

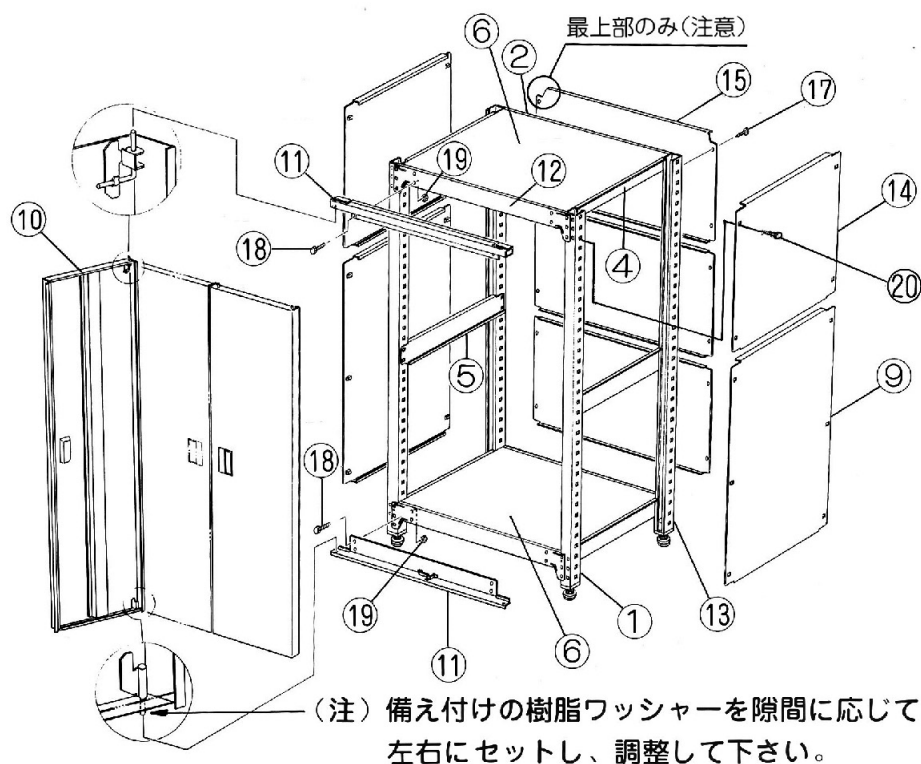
支柱①にアジャスターカップ⑦の切削部が外になる様はめ込んで、アジャスター⑧を根本までねじ込んで下さい。そして天棚受④を図の様に支柱①の最上部の角穴に取り付け小槌で軽く打込んだ後、棚受⑤を支柱①の内側に下から2つあけて取りつけて下さい。

前項で組み立てた支柱を向かい合わせにして、ビーム②を前後上下各1本ずつ取りつけて、安全ピン③をビームと支柱にセットして下さい。

棚板⑥を天と底にのせて、側板⑨の下方爪部を支柱①の下から2つ目の角穴に合う様に差し込んで下さい。その後、アジャスター⑧にてレベル調整を行なって下さい。

(W1200タイプのみ)
 背板⑩を下から順番にトラスタッピングビス⑬で固定して下さい。

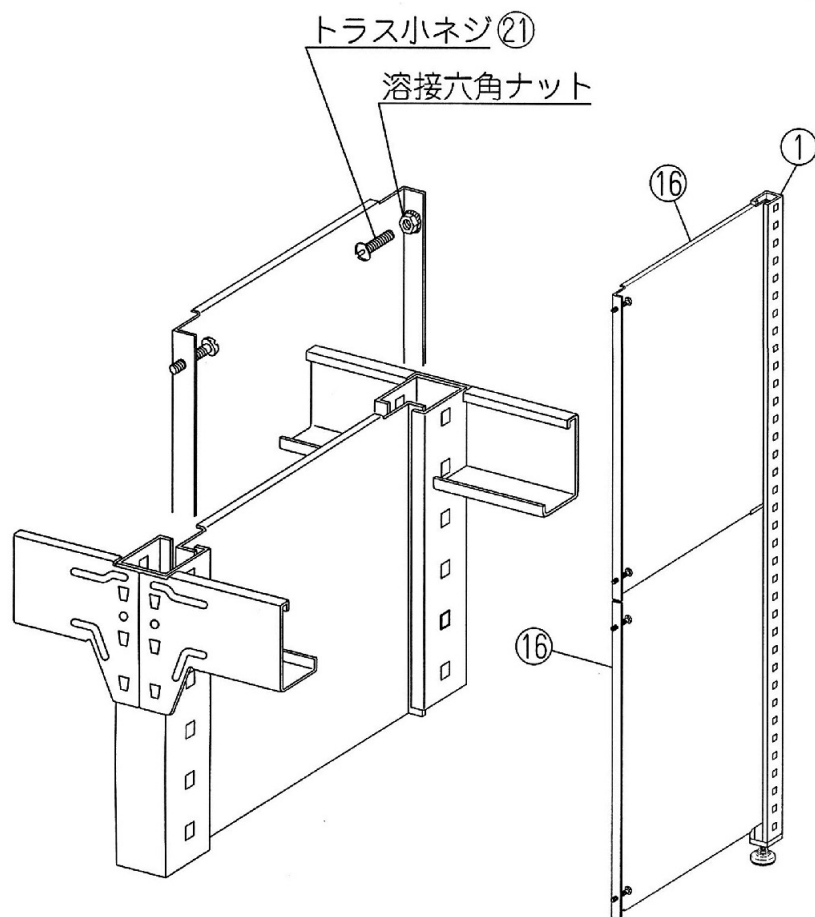
《Gタイプ組立図》



ビーム②を後部上下に取り付け、扉取付用ビームを前面上下に取り付けた後、安全ピン③を(ビーム、支柱)セットして下さい。そして扉受(上/下)を図の様にトラス小ネジ⑬、フランジナット⑭で締め付けて下さい。そして天面と底面に棚板⑥をセットし、任意の場所に棚板⑥をセットして下さい。

背板⑮を下から順番にトラスタッピングビス⑯で固定して下さい。そして扉⑩を扉受⑪の両端の穴にピンを差し込みセットして下さい。

次に側板⑨の下部爪部が支柱①⑬の下から2つ目に合う様セットした後、上部側板⑭をセットして、タッピング小ネジ⑰をねじ込んで下さい。



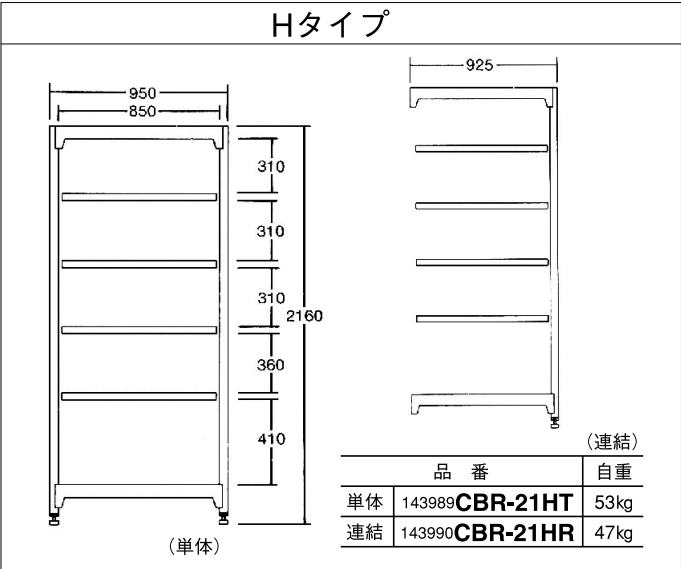
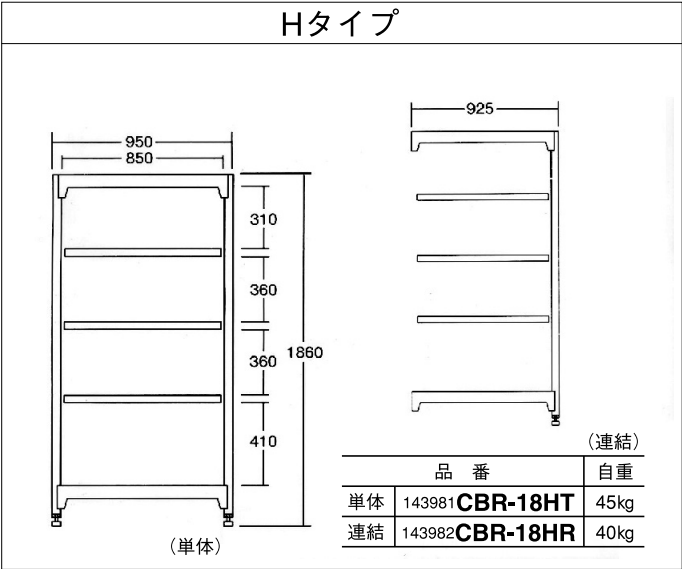
《連結の場合》

支柱の内側に中側板⑯(固定金具が垂直になっているのを確認)を横から入れ、ネジにて支柱の内側に突っ張る様にして固定して下さい。連結の場合、支柱の片側は兼用になり、組立ては単体のくり返しです。

※但し、Gタイプどうしの連結の場合、扉は90°しか開きません。

※1200タイプどうしの連結はできません。

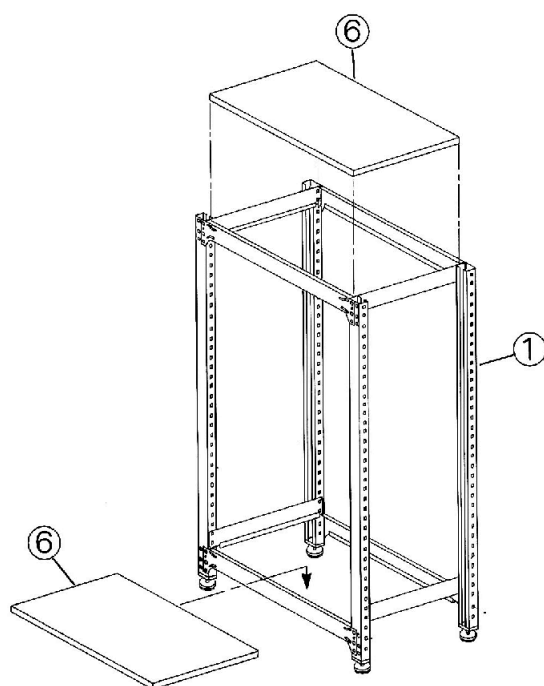
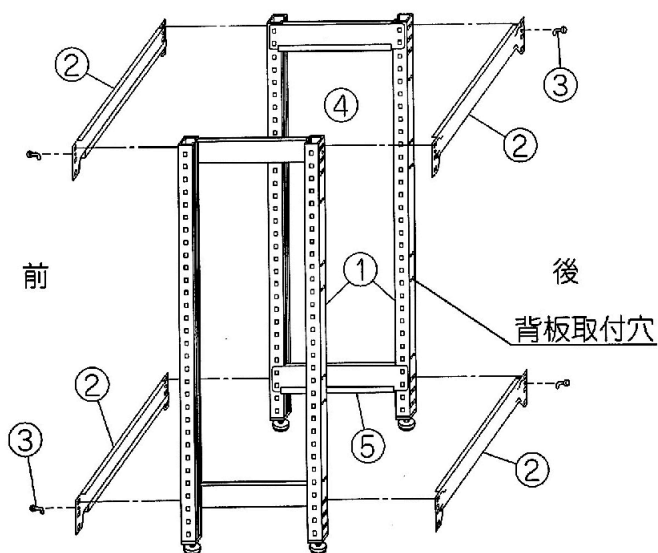
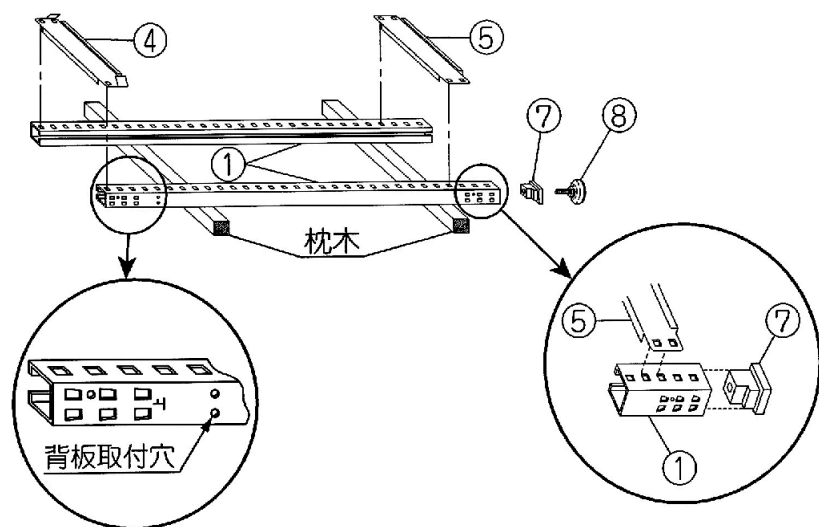
Hタイプ



●部 品 明 細

番 号	品 名	数 量			
		CBR-18H		CBR-21H	
		单体	連結	单体	連結
1	支 柱(1800H、2100H)	2	1	2	1
2	ピ ー ム	2	1	2	1
3	安全ピン	8	8	8	8
4	天 棚 受	2	2	2	2
5	棚 受	8	8	10	10
6	棚 板	5	5	6	6
7	アジャスターカップ	4	2	4	2
8	アジャスター	4	2	4	2

《基本体組立図》



《組立て要領》

（注1）支柱①上下を間違わないで下さい。

（注2）支柱①前後を間違わないで下さい。

（後用は背板取付穴有り）

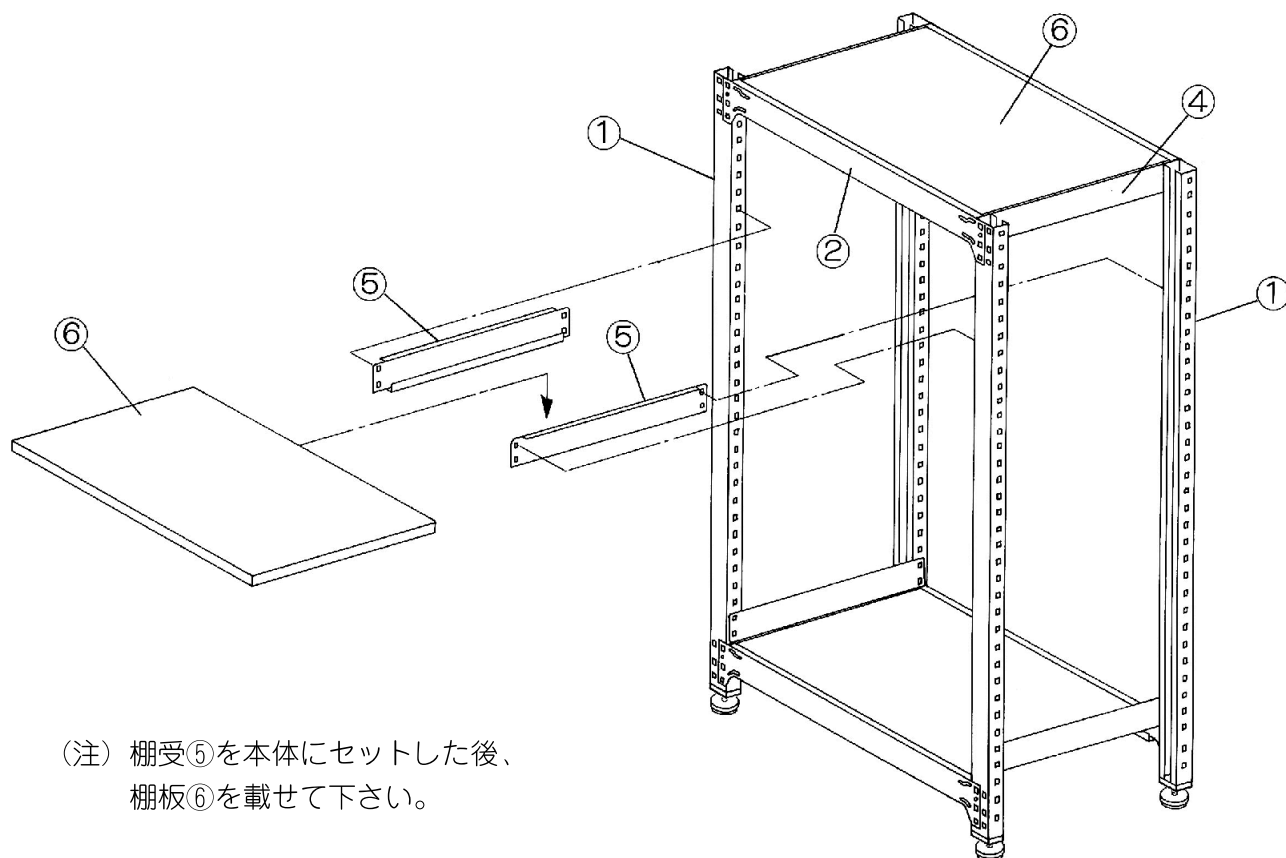
支柱①にアジャスターカップ⑦の切削部が外になる様はめ込んで、アジャスター⑧を根本までねじ込んで下さい。そして天棚受④を図の様に支柱①の最上部の角穴に取りつけ小槌で軽く打込んだ後、棚受⑤を支柱①の内側に下から2つあけて取りつけて下さい。

前項で組み立てた支柱を向かい合わせにして、ビーム②を前後上下各1本ずつ取りつけて、安全ピン③をビームと支柱にセットして下さい。

棚板⑥を天と底にのせて、側板⑨の下方爪部を支柱①の下から2つ目の角穴に合う様に差し込んで下さい。その後、アジャスター⑧にてレベル調整を行なって下さい。

《左図の基本を組立てる場合》

有効H310mmは棚受の下より6ヶ目 }
有効H360mmは棚受の下より7ヶ目 } に棚受⑤を本体にセットし、棚板⑥を載せて下さい。
有効H410mmは棚受の下より8ヶ目 }
※（ピッチ50mm単位で任意の場所にセットできます。）



（注）棚受⑤を本体にセットした後、
棚板⑥を載せて下さい。

連結の場合、支柱の片側は兼用になり、
組立ては単体のくり返しです。

S #力工